

平成29年12月4日

建設緑政局関係議案資料

議案第158号

等々力硬式野球場改築工事請負契約の変更について

建設緑政局

等々力硬式野球場改築工事請負契約の変更について

工事概要

工事名 等々力硬式野球場改築工事
 工事場所 川崎市中原区等々力1番
 構造規模 鉄筋コンクリート造、プレキャスト鉄筋コンクリート造、鉄骨造 地上3階建
 建築面積 6,300.53㎡
 延べ面積 11,974.61㎡

当初契約金額 4,430,160,000円
 変更契約金額 7,870,946,040円(増3,440,786,040円)
 当初工期 平成28年6月21日～平成30年9月28日
 変更工期 平成28年6月21日～平成32年12月15日



完成予想図

変更が必要となった要因と対策内容

①廃棄物混じり土

現場から廃棄物混じり土（コンクリートガラ・木くず・混合廃棄物・スレート材など）が出現し、また一部の土壌において特定有害物質が確認され、廃棄物と土壌の調査を実施した結果、建設発生土をそのまま処分場へ搬出ができないため、**指定する処分先へ適切に搬出処分**する。

〈調査結果〉

- ・廃棄物混じり土 処分量:約25,000m³
- ・検出された特定有害物質:六価クロム、砒素、セレン、ふっ素、ほう素、鉛

②地盤の軟弱部分

地盤に軟弱部分があり、場所や状況によっては重機も入れない状態のため、土質・地層構成の調査を実施した結果、施工、沈下等長期的な観点から**必要な範囲で地盤改良**を行う。

③杭支持層の想定以上の深さと使用されていない水路

簡易杭支持層調査により、設計時に調査が出来なかった箇所の杭支持層が想定以上に深いことが確認されたため、杭支持層調査を実施した結果、**杭を変更して適切な杭長にて施工**を行う。また、現場着手後の試掘調査において既存図面で確認できなかった水路が確認されたため、**水路解体工事**を実施する。



追加対策工事内訳

①廃棄物混じり土

……約29億2千万円

| | | |
|------|------------------|----------|
| 変更内容 | 廃棄物混じり土、汚染土壌処分追加 | 約24億7千万円 |
| | 遮水壁追加 | 約2億6千万円 |
| | 山留め追加 他 | 約1億9千万円 |

②地盤の軟弱部分

……約1億5千万円

| | | |
|------|-----------|---------|
| 変更内容 | 地盤改良追加、変更 | 約1億5千万円 |
|------|-----------|---------|

③杭支持層の想定以上の深さと使用されていない水路

……約1億2千万円

| | | |
|------|---------------|-------|
| 変更内容 | 杭の変更 | 約8千万円 |
| | 水路撤去・排水管盛替え追加 | 約4千万円 |

各種調査その他

……約2億5千万円

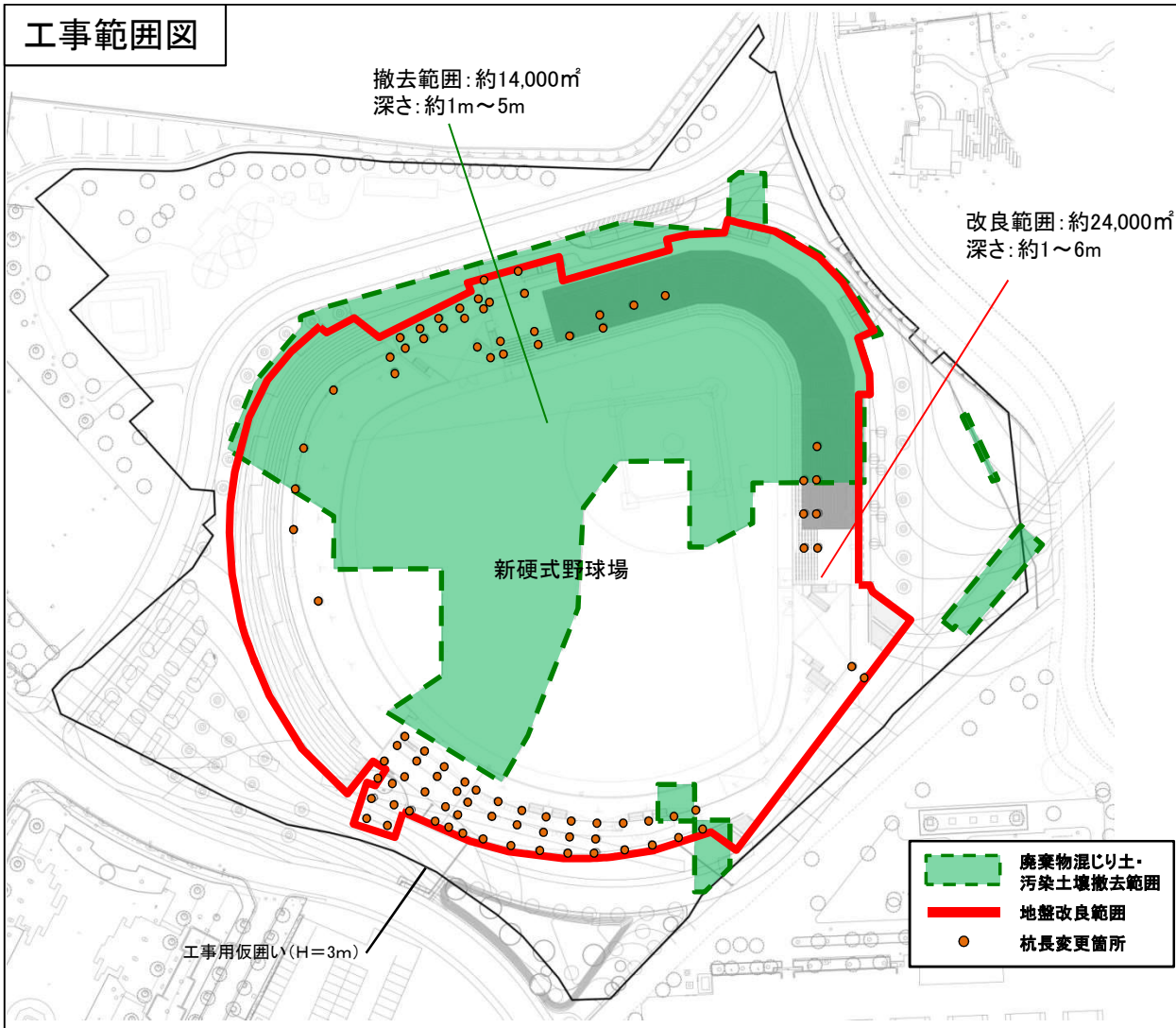
| | | |
|------|---------------------|---------|
| 変更内容 | 埋設物試掘(廃棄物混じり土の範囲・量) | 約4千万円 |
| | 土質・地層構成調査(軟弱地盤) | 約1千万円 |
| | 杭支持層調査 | 約2千万円 |
| | 土壌調査(土壌汚染の有無) | 約1億1千万円 |
| | 仮設(敷き鉄板等) | 約5千万円 |
| | 地下水モニタリング 他 | 約2千万円 |

合計 約34億4千万円

工事工程

| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 当初 | 本体工事 | | 外構 | | |
| 変更 | 調査 | 水路撤去等 | 追加対策工事 | 本体工事 | 外構 |

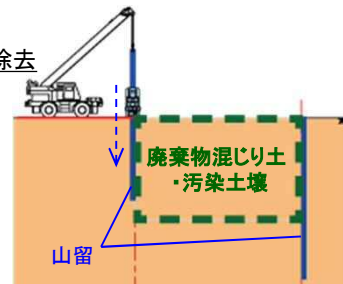
工事範囲図



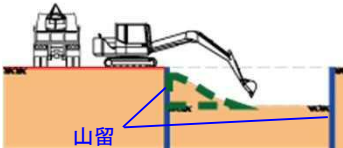
工事概要図

① 廃棄物混じり土等掘削除去

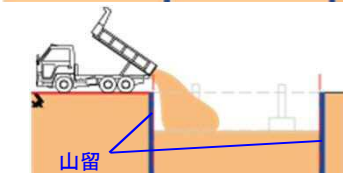
掘削除去を行うために、山留を設置する。



廃棄物混じり土・汚染土壌の掘削除去を行う。

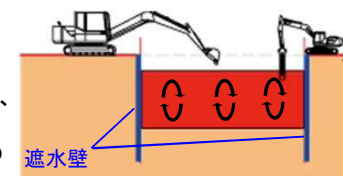


健全土にて埋戻しを行う。埋戻し後、山留を撤去する。



② 地盤改良

必要に応じて遮水壁を設置し、セメント系改良材と、埋め戻し土を攪拌して（混ぜ合わせて）、地盤の強度を高める。



③ 杭長変更及び水路撤去

杭: 184本中89本において杭長を変更し、また、88本においてケーシングを使用して施工を行う。

詳細工程

